

大泉

全国学力・学習状況調査報告

副校長 武井 和幸

平成二十五年四月二十四日（水）に六年生を対象に全国学力・学習状況調査が行われ、八月末に都道府県別の正答率が発表されました。大泉小の結果は左記の通りです。

全国学力学習状況調査正答率

【国語A（知識）】

本校・・・64.8%（H0）

東京都・・・64.8%

全国・・・62.7%

【国語B（活用）】

本校・・・60.8%（+8.1）

東京都・・・52.1%

全国・・・49.4%

【算数A（知識）】

本校・・・82.8%（+4.4）

東京都・・・78.4%

全国・・・77.2%

【算数B（活用）】

本校・・・66.1%（+6.7）

東京都・・・60.8%

全国・・・58.4%

*（ ）は本校と東京都の正答率を比較しての値です。

<発行>
練馬区立大泉小学校

<所在地>
練馬区東大泉 4-25-1

TEL 03-3924-0144
FAX 03-5387-2092



結果を見ると、国語Aの正答率が東京都と同じ値ですが、それ以外はどれも東京都の正答率を上回っています。

【国語】

国語Bでは、正答率が8.1%も上回っています。これは、内容から引用して書いたり、理由を書いたりすることがよくできているということです。

【算数】

算数は比較的よくできています。知識も正答率が80%以上という結果になっています。算数Bは計算よりも根拠を書くという学習内容に重点を置いています。これは、根拠を考え、表現する力がついてきていると言えます。

今回の調査では、国語と算数の他に児童質問紙もありました。この調査では、「家の人と学校での出来事について話をしていますか。」の質問に対して、肯定的に捉えている児童が多かったです。家庭で話すことは、国語の活用力や算数の表現する力にも繋がっていると考えられます。

ぜひ、これからもご家庭でお子さんと話し合う場を作っていくてください。また、「家で自分で計画を立てて勉強していますか。」の質問に対しても、肯定的に捉えている児童が多かったです。この結果から、自分で学習に取り組む姿勢がよい結果を生むといえます。「10分×学年」を目安に家庭学習がしっかりとできる児童が育つよう指導していきます。ご協力をお願いします。

10月の行事予定

- 1日（火）都民の日（休み）
- 2日（水）給食なし（弁当持参）
- 3日（木）委員会活動
- 3日（木）～31日（木）あいさつ月間
- 4日（木）宿泊学習前検診（五）
- 7日（月）～9日（水）軽井沢合同宿泊学習（五）
- 10日（木）歯科検診（全）クラブ活動
- 10日（木）安全指導・安全点検
- 11日（金）移動教室前検診（5）障害理解教育（6）
- 12日（土）親子音楽鑑賞会 教育実習終
- 14日（月）体育の日
- 15日（火）～17日（木）武石移動教室（5）
- 18日（金）一学期終業式
- 4年以上5時間授業
- 21日（月）二学期始業式
- 21日（月）～11月1日（金）読書旬間
- 23日（水）午前授業（研究会のため）
- 24日（木）クラブ活動
- 25日（金）地域安全マップ（4）
- 28日（月）避難訓練
- 起震車体験（6）
- 29日（火）連合音楽会（5）
- 31日（木）クラブ活動

《10月の生活目標》 「自分から朝のあいさつをしましょう」

「おはようございます」

一日が始まる朝の挨拶です。家庭での朝の目覚めはこの挨拶で始まり、学校の一日の生活もこの挨拶から始まります。基本的な生活習慣であり、最も身近で簡単なコミュニケーションです。大きな声で言うと、一日のスタートに弾みがつきます。その日一日、何をやってもうまくいくような気がしてきます。

「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」「おやすみなさい」など挨拶のことばはいっぱいあります。挨拶の「挨」の字には「心を開く」という意味があり、「拶」の字には「相手に近づく」という意味があります。人と人との関係作りのスタートが挨拶をするということです。自分からすすんで挨拶ができるようになるといいですね。

大泉小学校では、通年、この「自分から言うあいさつ」を指導しています。5月、10月、1月を、「あいさつ運動月間」とし、「あいさつしよう！ハイタッチ運動応援隊」が、朝8時15分～25分まで、下校庭門と神社門に立って、あいさつ・ハイタッチ運動を応援しています。

ご家庭でも、気持ちよく挨拶し、すがすがしい朝を迎えられるようにご協力よろしくお願ひします。（勝又 眞優）

◎『心のふれあい相談室』について

ふれあい相談員は、浅沼玲子相談員です。

・時間は：火曜日・水曜日

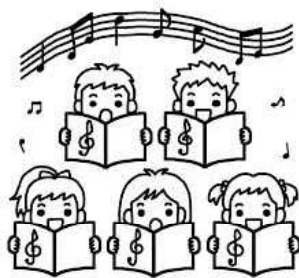
金曜日：10時～15時

・場所は：和室 で行います。

練馬区小学校連合音楽会

練馬区では、連合音楽会（合唱・合奏）、または連合音楽鑑賞教室を、小中学校生活の間に必ず一度は経験できるようになっています。

今年度は、連合音楽会が十月二十九日（火）に練馬文化センターにて開催され、大泉小の五年生が午後の部に出演します。演奏する曲は、合唱曲が「人間っていいね!」、合奏曲は「YUME日和」です。五年生は、大変意欲的に取り組んでいて、授業中だけでなく、中休みや昼休みの時間にも、一生懸命に練習しています。時々、廊下や掃除の合間にも、



メロディーを口ずさんでいる姿が見られます。合唱では、お互いのパートを聴いて合わせる事に気をつけ、合奏では、音のバランスに気をつけながら、リズムにのって楽しく演奏できるようにしたいと思います。さて、いよいよ本番ですが、練習してきた成果を発表できるように、心をひとつにして演奏したいと思います。

（寺本 美郷）

障害理解教育について

本校では、障害理解の学習の柱として①五組の子供たちと各学年の子供たちとの交流及び共同学習。②人権教育の一環として「福祉」の視点から体験的に学ぶ学習。の二つを立てています。

交流及び共同学習では、交流給食や交流体育、社会科見学等の校外学習に一緒に行くことその他に、五組の学習ののれん作りの一部分を各学年の子供たちが体験することもしています。先日行われた運動会でも、練習の時間から五組の子供たちがそれぞれの学年の中に入り、一緒に競技や演技の練習に取り組みました。これまでの積み重ねで五組の子供もスムーズに練習に入っていくことができました。日々の学校生活が障害理解の学習の場になっています。

福祉の学習では、三年生までは、教科、道徳、総合的な学習の時間を中心に、自分や友達を大切にする事や、他人の気持ちを考えることなどを学びます。

四年生からは、総合的な学習の時間を使って、体験的に障害について学びます。四年生は視覚障害者の方をお招きして白杖体験やガイドヘルプについて学びます。また、点字についての話も聞き、実際に点字を打つ活動もします。五年生は聴覚障害の理解を深め、手話を体験します。六年生は、車椅子体験と重度障害者の方やボランティアの方との交流をします。

子供たちが、互いに認め合い、大切にし合える関係を築いていけるよう、学習を進めていきます。

（小林 雄太）

ことばの教室から

「ことばの教室」には、本校を含めて、18校から41名が、発音が正しくなく、吃音がある、言葉の発達が心配であるなどを理由に通級しています。

個別指導を中心に、週1回1〜2時間、一人一人の課題に応じた学習を行っています。通級の時間には、やりとりを楽しめることを最も大切にしています。話したい、伝えたい、聞いてみたい、知りたいといった気持ちがある言葉を高めたいと考えると考えるからです。

十一月六日には、学習発表会を行います。表現することへの自信を高めたいと思っています。一人一人が工夫し、劇やクイズに音楽・・・と様々な発表があり、魅力的な会になると思います。今から楽しみです。

（新宅 絵美）

いずみ学級から

現在いずみ学級には、本校も含めて13校から29名の子供たちが、週一回決まった曜日に通っています。

学級では、社会性やコミュニケーション能力の向上を目指す活動とともに、体づくりに運動や集中・ビジョントレーニングなどに重点を置き、指導を続けています。通級する子供たちは、友達との関係がとりにくかったり、自分の気持ちをうまく表現できなかったり、自分のことをうまく生活の中で何らかの課題をもっている子供たちですが、個別学習や少人数での学習を通していくことで、少しずつ落ち着いて人の話を聞いたり、学習に取り組みできるようになることができます。

これからも、子供たちが自分自身を見つめ、更に自分本来の力を発揮できるように、毎日新鮮な気持ちを持って子供たちと結びつきを強め、関わってきたいと思えます。

（田中 亨）

一年生の様子

入学して約半年が過ぎようとしています。子供たちの成長の早さには本当に驚かされます。今では、ほとんどの事が自分の力でできるようになりました。給食当番・掃除当番・日直や係の仕事など自信をもって取り組む姿にたくましさを感じます。また、友達もたくさん増え、休み時間は、いっぱい汗をかいて仲良く遊んでいる姿に喜びを感じます。

先日、生活科の学習の一つとして、二クラス合同で水遊びを楽しみました。水着に着替え、水鉄砲やバケツなど思い思いの道具を持った子供たち。大きなビニールプールも用意して準備完了です。

皆、はじめからものすごい勢いで水と仲良くなりました。子供たちも大人もいつの間にかびしょびしょです。クラスの垣根を越えて、男女一緒に全力で楽しむ子供たちのエネルギーはすばらしいです。

これからも、活動の楽しさやできた、わかったという学ぶことの喜びを大切にしながら、かわいらしい一年生の時期を大切に過ごしていきたいと思えます。

十月中旬からは、二学期が始まります。これまでに培った力を発揮し、更にパワーアップしていく一年生を応援してください。

（大木 篤）

